



東村山 \ スポーツ推進委員会だより

発行：東村山市スポーツ推進委員会

東村山市久米川町3-30-5 スポーツセンター内 TEL042-393-9222

平成28年度東京都スポーツ推進委員広域地区別研修報告

第10ブロック参加報告

今年度の第10ブロック広域地区別研修会は、9月24日（土）午後から、東久留米市スポーツセンターで開催されました。

年に一度の研修会は、東村山市・小平市・清瀬市・西東京市・東久留米市の近隣5市が持ち回りで研修テーマを決め、お互いに研修を深める研修会になっています。今年度の担当になった東久留米市の、「障がい者スポーツとスポーツ推進委員」をテーマに発表がありました。

障がい者スポーツの取り組みやスポーツ事例を研修

前半の講義では、現在東久留米市が取り組んでいる障がいを持った人との「フットサル」に取り組む様子や、障がい者と健常者とのスポーツの取り組みの事例が話されました。今年の夏に大きな話題となったリオデジャネイロパラリンピックの話も多く出されました。「身体の失ったものを悔やむより、残されたところを生かそう」という選手たちの強い意志が、あのすばらしいパラリンピックの感動を生んだに違いありません。

障がい者も楽しめるソフトバレーボールを実践

後半の実技研修では、ソフトバレーボールをチームに分かれて行いました。交代で審判をしながら他の市の推進委員との交流を深めました。各地区の推進委員の笑い声や、大きな声援で体育館の中は活気に満ち溢れていました。

また、ゲームのない待ち時間には東久留米市で考案された「ネオユニカール」という、ユニカールとボーリングを混ぜたようなゲームや、6人で鈴の入ったピンポン球を使い、パスを回しながら転がし得点する「卓球バレー」、足で踏むと空気が抜ける柔らかいサッカーボールを使用した「フットサル」を経験することができました。



今回の研修では、4年後に開催される東京オリンピック・パラリンピックに目を向けた話しが多くあり、中でもオリンピック・パラリンピックが終わったあとの事が大事であるという話しが印象的でした。オリンピックを開催するにあたり、各市が将来の日本に向けてどのようなレガシー（遺産）を残すことができるかを考える必要があると、大きな課題を言い渡された研修会でした。